

# 平成24年度 社会福祉法人白翁会事業報告書

## はじめに

昨年末の政権再交代以降、大幅な金融緩和策等が功を奏し、経済環境は明るい兆しが見られるようになって来ているが、今後の福祉政策の財源等を左右する税と社会福祉の一体改革については、現在、社会福祉制度改革国民会議などで議論が進められているが、未だに結論が出ず、不透明感がぬぐえない。

また、国は、介護保険の制度を維持するためには、給付の重点化・効率化とともに、予防給付の見直しや在宅福祉への移行など給付制限に踏み込んだ考えを示している。

さらに、障害者自立支援法は、平成25年度から障害者総合支援法に法律名称が変更され、数々の制度改正が実施されることになったが、改正の趣旨である地域社会における共生の実現には程遠い内容と言わざるを得ない。

さらに、国民健康保険の運営主体を都道府県に移す方向にあるが、この一環として、社会福祉法人の経営の合理化のため、法人の大規模化等再編を求める声も上がっている。

このような社会福祉制度改革の大きな動きについては、今後十分注視しながら白翁会の経営に当たる必要がある。

平成24年度の白翁会の経営状況は、介護保険料等の厳しい見直しが行われたにもかかわらず、千寿の園、喜久の園及び内田デイサービスセンターでは、人件費等の見直しによる経費の節減を図るとともに、長期入所、短期入所及びデイサービスの利用率の向上に努めた結果、経常活動収支で一定の収益を確保することができた。

また、光陽荘においても、物価スライドによる給付費の一部削減があったが、前年度並みの収益を確保したところである。

感染症予防対策については、平成23年度、千寿の園及び喜久の園において、ノロウイルスによる感染性胃腸炎患者が集団発生し、両施設ともに、短期入所の一時閉鎖や外来者の施設内立ち入り制限を実施した結果、拡大防止・閉鎖延長を食い止めることはできたが、少なからず、経営面に影響を及ぼした。このことを教訓として、平成24年度は各施設ともに感染症予防対策を強化したが、2月から3月にかけて光陽荘において、小規模ではあるが発生した。しかしながら、今年度は、インフルエンザ及びノロウイルスの集団発生が全国的に地域的に大規模であった状況を考慮すると、これだけの小規模の発生に止まったのは、各施設の対策の強化が実ったものと考えている。

以下、項を追って報告する。

## 1 法人運営に関する事項

### (1) 理事会・評議員会の開催

- ① 第1回定例理事会・評議員会 5月29日

- ・出席者： 理事 9 人 監事 2 人 評議員 20 人
- ・審議事項  
平成 23 年度事業報告及び決算  
法人所在地の変更
- ② 第 1 回臨時理事会 8 月 30 日
- ・出席者： 理事 9 人
- ・審議事項  
平成 24 年度光陽荘改修工事の請負契約の締結
- ③ 第 2 回定例理事会・評議員会 12 月 4 日
- ・出席者： 理事 9 人 監事 2 人 評議員 19 人
- ・審議事項  
平成 24 年度第 1 次資金収支補正予算  
定款及び諸規程の変更  
平成 24 年度社会福祉法人に対する指導監査の実施結果  
千寿の園隣接土地の購入  
法人の人事
- ④ 第 2 回臨時理事会 2 月 28 日
- ・出席者： 理事 9 人
- ・審議事項  
独立行政法人福祉医療機構借入金の繰上償還等  
光陽荘障害者相談センターの開設及び同センター運営規程の制定
- ⑤ 第 3 回定例理事会・評議員会 3 月 28 日
- ・出席者： 理事 10 人 監事 2 人 評議員 19 人
- ・審議事項  
平成 24 年度第 2 次資金収支補正予算  
平成 25 年度事業計画及び資金収支予算  
定款の変更  
職員就業規則及び再雇用規程の改正  
職員給与規程の改正  
平成 25 年度給食業務委託契約  
(評議員会のための審議事項)  
理事及び監事の任期満了に伴う次期理事及び監事の選任  
(理事会のための審議事項)  
次期理事長の互選  
定款の変更  
副理事長の選任

施設長等の人事

役員報酬額の決定

## 2 法人職員の研修

新規採用職員を対象として、介護・支援業務を行う上で最も基本となる理論と技術を習得するための法人本部主催による研修に加え、全職員を対象に、静岡県社会福祉協議会助成事業による職員研修を実施した。

### (1) 法人本部主催研修

#### ①基礎研修Ⅰ（新規採用職員等を対象とする福祉理論）90分×3講座

講師 松平千佳・県立大准教授 ・実施日 9月6、20 10月4日

場所「うらら」・受講者 9人

#### ②基礎研修Ⅱ（新規採用職員等を対象とする実技講習）90分×5講座

講師 濱口晋（県立大講師）・木林身江子（同）・鈴木俊文（同）・佐藤桂子（同助教）

実施日 9月13、27 10月11、25日 11月1、8日

場所「うらら」・受講者 15人

### (2) 静岡県社会福祉協議会委託研修事業

#### ①接遇研修（20、30歳台を対象とする接遇マナー研修）120分講座

講師 上藤美紀代 ヴォイス・セラピー実践研究家、元SBSアナウンサー

実施日 10月22日・場所「うらら」・受講者 112人

受講者アンケート結果より（回答率84%）93%が「大変参考になった」、「ある程度参考になった」と回答。

#### ②パソコンらくらく研修（PC技術の向上に関心のある職員対象）90分講座

講師 小池康仁 鈴与システムテクノロジー(株) 研修担当

実施日 11月26日・場所「うらら」・受講者 38人

受講者アンケート結果より（回答率92%）ワード、エクセルの活用方法（「(大変)参考になった」約80%）に比べ、介護保険ソフト（ほのぼのシステム）の操作に関する研修（「(大変)参考になった」94%）が職員の関心を集めた。

#### ③感染症予防研修(感染症予防の実践的な対策を進めるための研修)60分講座

講師 鈴木こなみ 浜松赤十字病院 感染症対策担当、感染管理認定看護師

実施日 12月14日・場所「うらら」・受講者 24人

受講者アンケート結果より（回答率67%）「実際に感染症の対応を経験した施設から意見が聞けて良かった」、「グローブの外し方が参考になった」、「蛍光塗料を使った実験は、とてもリアルで参考になった」等の意見あり。

#### ④ためになる看取り研修(看取りの知識、心構えを実践的に学ぶ研修)90分講座

講師 江崎好宏・山口朋範 JA 遠州夢咲葬祭 葬祭ディレクター技能審査1級

実施日 2月6日・場所「うらら」・受講者 46人

受講者アンケート結果より（回答率80%）「看取り介護について改めて考えさせられた」、

「葬儀一般、セレモニー的な観点からの研修としては参考になった」、「次回は医療面（看護師等）他、別の立場の方から看取りケアを学びたい」等の意見あり。

### 3 人材確保対策

平成 25 年度新規学卒者の採用に向けて、専門学校及び高校等に対し求人活動を行ったところ、計 3 人を採用することができた。平成 27 年度に介護人材の養成体系の大幅変更が予定されている中で介護人材の確保は一層厳しくなることが予想される。良質な人材の確保は法人運営の要であるので、従来にも増して努力していきたい。

### 4 職員の福利厚生

法人職員が育児を行いながら勤務を継続できるよう、市内 NPO 法人「かすみ草」との間で保育料助成の契約を交わし保育支援制度を実施しているが、年々利用者は増加し、一定の効果を挙げることができた。(当年度末利用職員数 11 人・児童数 18 人・費用総額 2,411 千円)

### 5 感染症予防対策

平成 23 年度の大流行に鑑み、各施設、事業所において、従来以上の予防対策を実施したところ、大流行は食い止めることができた。

### 6 決算の状況

平成 24 年度は、介護保険施設、障害者支援施設とも、物価スライド等による報酬の改定（減額）が行われた。前年度まで実施された介護職員処遇改善補助（交付）金が報酬加算として措置されたこと、並びに内田デイの利用率の向上等が相まって、介護保険、自立支援収入総額で前年度比 30 万弱の微減に止まった。こうした中で、定期昇給の実施及び職員の増員により大幅な人件費の増大が見込まれたため、規定以上の一時金の支給を取りやめるなど、人件費の抑制に努めたが、喜久の園建設資金の繰上償還に係る一時的な費用、光陽荘の施設の改修費用等の増加により、経常活動資金収支差額において、前年度比 3,460 万円余の減となった。

なお、これらの経理内容については、5 月 16 日、杉山明喜雄公認会計士事務所の監査を受けた。

#### ① 3 施設 1 事業所の事業活動と法人の主たる収入及び人件費の支出状況（単位千円）

項目 年度	介護保険・自立支援収入		人件費支出		経常活動資金収支差額	
	23 年度	24 年度	23 年度	24 年度	23 年度	24 年度
千寿の園	327,873	322,142	227,045	233,948	5,184	▲1,706
喜久の園	280,395	280,605	194,346	197,481	8,816	▲15,521
内田デイ	66,758	69,500	46,347	47,395	3,044	4,292
光陽荘	329,485	331,489	195,051	193,562	67,013	62,713
たんぽぽ	15,602	16,097	5,952	5,635	8,773	8,937
本部			832	766	▲2,331	▲2,825
計	1,020,114	1,019,835	669,576	678,790	90,500	55,889

注：経理区分間繰入措置は行われなかったものとして記載した。

② 経理区分間繰入金収支の状況

繰入金支出：光陽荘 30,000 千円

繰入金収入：喜久の園 24,000 千円・内田デイ 3,000 千円・本部 3,000 千円

③ 借入金の繰上償還と償還資金の借入れ

喜久の園の経営の安定を図るため、福祉医療機構からの建設資金借入金を一括償還し、同時に地元金融機関から、低利、長期資金の借入れ（総額 2 億 5,700 万円・借入期間 24 年）を行った。その結果、喜久の園の年間元利償還額は、他行からの借り入れ分を含めて 1,700 万円程度となり、独立採算経営が実現可能な状況となった。